

PLCopen Japan の活動再開について

1. はじめに

IEC 61131 規格に基づくプログラマブルコントローラは欧州を初め世界的な普及が進んでおり、日本においても同規格の JIS 版である JIS B3501、JIS B3502、JIS B3503 が国土交通省の電気設備工事標準に 2001 年度に採用され、普及期を迎えつつあります。

この機会を捉え、東芝、富士電機、松下電工、横河電機(50音順)の4社は現在活動を停止している **PLCopen Japan** の業務を 2002 年 12 月に引き継ぎ、IEC61131-3 の普及促進活動を今年から再開いたしました。

(規格の概要については、配布パンフレットをご参照。)

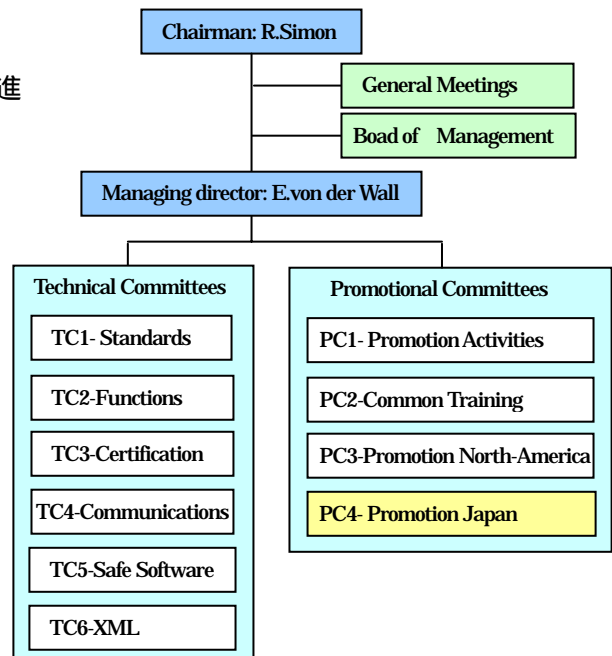
2. PLCopenについて

1) PLCopenの組織と主な活動内容

PLCopen は、欧州（オランダ）に本部を持つ PLC のプログラミングの国際標準規格である IEC 61131-3 の普及促進団体であり、ワールド・ワイドな会員組織です。

組織の概要は右の通りで、認証業務を実行する TC3-Certification を含む 6 つの技術委員会と 4 つの普及促進委員会で構成されています。

普及促進委員会は全体活動を企画運営する PC1 と共通導入教育を担当する PC2、北米拠点の PC3、日本の拠点 PC4 で構成しています。



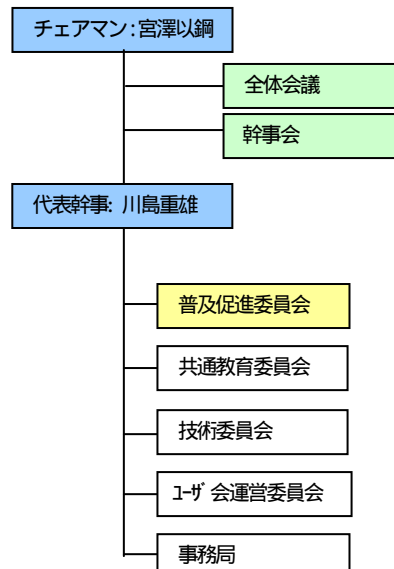
2) PLCopenの沿革と会員情報

- (1) 設立 1992 年
- (2) 現在の会員数 100 (2 1ヶ国)
- (3) 主な活動実績
 - ・ 会員募集、組織拡大
 - ・ IEC 61131-3 規格の普及活動 (HP、会報、展示会、セミナー)
 - ・ ベースレベル認証制度確立
- (4) 現在の主な活動テーマ
 - ・ 普及停滞地域での普及活動
 - ・ IEC 61131-3 を含めた広範な制御分野のプログラミングに関する問題解決。
 - ・ XML を使ってプログラム再利用、ポータビリティの実現。

3. PLCopen Japanについて

PLCopen Japan は、PLCopen の組織 Promotional Committees の PC4 - Promotion Japan に位置づけられ、欧州本部と北米 (PC3 - Promotion North-America) の世界 3 拠点の一つを構成しています。PLCopen Japan は 1994 年に設立されましたが、ここ数年休止状態にありました。冒頭に示した環境の変化を受けて、今般組織を再編・再出発しました。

新生 PLCopen Japan は、日本市場に関心のある会員から構成されています。PLCopen Japan の活動は参加会員の総意によって行なわれ、PC4 の活動枠にとらわれず、次に示す広範な活動を行います。右に現在の組織を示します。



4. PLCopen Japanの目的と活動内容

PLCのプログラミングの国際標準規格であるIEC 61131-3の普及を促進し、産業オートメーション分野の合理化・発展に寄与します。具体的には、次の活動を行います。

IEC 61131-3, JIS B3503の普及啓蒙

- ・マスメディアやホームページを使った情報提供
- ・技術セミナーの開催、展示会への出展

共通ユーザ教育の実施

国内での認証システムの確立

標準化の推進

- ・テキスト言語(IL, ST)のソフトライブラリーの構築
 - ・LD, FB, SFC等非テキスト言語のXMLを使った標準化、ポータビリティ化等の研究
- ユーザ会の運営によるユーザ開発資源の利用推進
- ・適用事例の調査研究
 - ・成功事例の一般化、適用の標準化
 - ・ユーザの視点からの規格改訂の提案

5. 事務所及び連絡先

1) 住所 : 〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-2 (富士電機株内)

2) 連絡先 : URL <http://www.plcopen-japan.jp>

E-Mail info@plcopen-japan.jp

FAX 03-5435-7462

3) 入会について

IEC 61131-3の開発者、製造者、システムインテグレータ、コンサルタントなどの法人会員および、研究/教育者、ユーザについての個人・団体会員の募集を近く開始する予定です。

6. 当面の活動計画

次の通り予定しています。

1) 技術セミナー 2003年1月31日午後(社)日本電機工業会主催の技術講演会にて、PLCopenのPC1チェアマン Ralf Wohlschlaeger氏を迎え「Actual PLC programming standard and world-wide acceptance (IEC 61131-3 and PLCopen activity)」についての講演を行う。

なお、講演の案内および聴講申し込みについては、次のホームページを参照ください。

<JEMA講演会 URL <http://www.jema-net.or.jp/Japanese/seminar/pcnet.htm>>

2) ホームページの開設、情報提供、会員募集

3) 4月以降

技術委員会による認証制度構築、XMLによる標準化研究やユーザ会運営委員会によるユーザによる事例研究やユーザ開発資源の利用推進、共通教育委員会による導入教育、普及促進委員会によるシステムコントロールフェア2003への出展等を予定しています。

<ご参考>

PLCopen Japan チェアマン 宮澤 以鋼氏 【略歴表】

1960年3月29日生まれ。

84年3月山梨大学工学部計算機科学科卒業。

91年3月横浜国立大学大学院工学研究科博士課程後期電子情報工学専攻修了。工学博士。

91年4月同大学工学部助手

94年4月神奈川県工業試験所(現神奈川県産業技術総合研究所)技師, 99年6月同主任研究員, 現在に至る。

シーケンス制御工学、フィールドネットワークおよびベトリネット理論などの研究や試験に従事。

電気学会、計測自動制御学会およびIEEEの会員。

以上

<お問い合わせ先> PLCopen Japan

代表幹事: 川島 重雄

TEL: 03-5435-7134

(富士電機株式会社内)